

川崎市とドイツ・ミュンヘンのバイオクラスターマネジメントBioMとの ライフサイエンス分野を中心とした経済交流に関する覚書を更新しました

川崎市は、2017年11月、世界トップレベルのバイオクラスターマネジメント組織であるドイツ・バイエルン州の「BioM」と、双方の地域における産産・産学連携を促進するため覚書を締結し、両者の協力による国際的なイノベーション創出のために相互訪問、連携・交流の取組を進めています。

2020年2月、川崎市とBioMとの間で、ライフサイエンス分野での経済交流を今後も継続し、連携した取組をより強化・推進することを目的として覚書を更新しました。

1 覚書の目的

川崎市とBioMは、以下の事項について協力する。

- (1) バイエルン州と川崎市双方の地域にとって有益な強固で長期にわたる関係の構築
- (2) 定期的に双方の地域の最新情報の提供、成功事例に関する意見交換
- (3) 双方の地域のライフサイエンス企業等の進出拠点の確立
- (4) 国際的な共同研究開発プロジェクトの促進

2 目的達成のための同意事項

- (1) BioMと川崎市はさらなる協力の機会を検討する。
- (2) 各地域における他の機関も関与することができる。
- (3) 両者は相手方地域における進展やビジネスチャンスについての最新情報を相互に交換し、新規企業や提携の機会について定期的に最新情報を提供することに同意する。
- (4) BioMは川崎市に、川崎市はBioMに具体的な業務（例えば、特定の企業の市場参入や連携への関心）を依頼するために直接連絡することができる。
- (5) 両者は少なくとも年に1回、例えばBIO-EuropeやBIO International、BioJapanで面談を行うことを目標とする。
- (6) 両者は本覚書に基づいて定期的に連携の機会を検討する。
- (7) 両者は各々のホームページで相手方のロゴを用いてパートナー地域の宣伝を行うことに同意する。
- (8) 中小企業の市場参入を相互に促進する。
- (9) 各々により運営されるバイオテクノロジー/医療技術関連のイベントや任務を促進する。
- (10) それぞれの地域において企業と関係者間の技術移転を開始する。
- (11) 各地域における企業の立ち上げに関する過程や技術的側面、ネットワーキング、技術移転、プロジェクト構築、特定の規制や現地の市場に関する情報を交換する。

3 有効期間

2020年2月から3年間

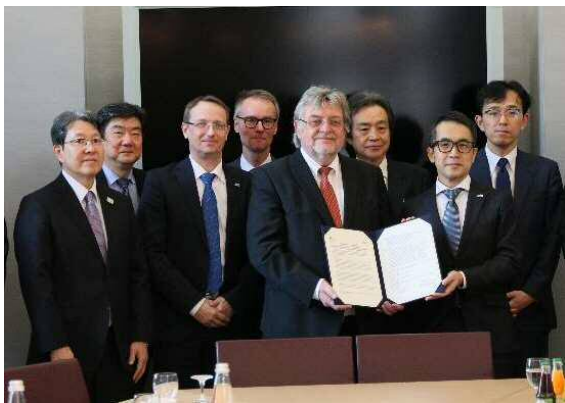
締結式の様子

2月11日に川崎市がバイエルン州を訪問し、締結式を行いました。



Mr. Tomohiro Takahashi, Director, Coastal Area International Strategy Headquarters,
City of Kawasaki (right)

Prof. Dr. Horst Domdey, CEO, BioM Biotech Cluster Development GmbH



(from left)

Mr. Kimura, Consul General of Japan;

Mr. Nomura, President, KING Skyfront Networking Council;

Dr. Geltinger, Bavarian Representative in Japan;

Dr. Wolter, Head of the Department for Innovation, Research and Technology Bavarian Ministry of
Economic Affairs, Regional Development and Energy;

Prof. Domdey, CEO, BioM Biotech Cluster Development GmbH;

Dr. Kono, Life Science Chief Coordinator, Kawasaki Institute of Industry Promotion;

Mr. Takahashi, Director, and Shimamura, Associate Manager, Coastal Area International Strategy
Headquarters, City of Kawasaki.